

一般向け
約 20 分

自然災害への備え いのちを守る 7 か条

【企画意図】

2018年7月の西日本豪雨、その2か月後の9月6日に起こった北海道胆振東部地震では、多くの犠牲者が出ました。日本ではこれまで、地震・台風・集中豪雨など、様々な自然の脅威に直面してきました。日常で無理なくできる防災のあり方、ライフスタイルとしての防災が求められています。

本作品では自然災害から身を守るために必要な備えを、毎日の暮らしの中でできるちょっとした意識の持ち方や工夫といった、「とりあえずこのぐらいなら始められるかも」という切り口で、7つのポイントとして紹介します。

防災を意識して毎日の暮らしをちょっと見直したり、できることから備えを始めるきっかけとなることを示唆するものです。



一般向け
約 20 分

地震発生、 いのちを守る 10 か条

【企画意図】

2018年9月の北海道胆振東部地震は、北海道で初めてとなる最大震度7を記録し、大規模な山崩れや転倒した家具の下敷きになって多くの人が亡くなりました。この事実は、“地震から命を守ることがいかに難しいか”を改めて私たちに突きつけています。同時に、過去の地震を教訓とし地震発生時に適切な行動をとれば命を守れるということも、私たちに教えてくれているのです。

本作品では、地震が発生したときにどう行動すれば自分の命や家族の身を守れるかを、最低限必要な10のポイントとして、地震の教訓をふまえて紹介します。

地震から命を守るために一人一人ができることを確認するきっかけになればと思います。



一般向け／約20分

自然災害への備え いのちを守る7か条

これまで日本は、様々な自然災害に見舞われ、多くの犠牲を出してきた。自然の猛威は、今もこれからも、私たちの暮らしを脅かしている。自然災害から命を守るには、毎日の暮らしの中で防災を意識し、少しずつ備えていくことが大切だ。

暮らしの中でできる自然災害への備え、7つのポイントを見ていこう。

- ①外出時は災害をイメージ
- ②いつもの外出で帰宅困難に備える
- ③家の内外を安全に
- ④ハザードマップを活用しよう
- ⑤日常備蓄～自宅で被災生活
- ⑥家を出て避難するための備え
- ⑦地域のコミュニケーション



ライブラリー価格 本体 ¥65,000+税

一般向け／約20分

地震発生、 いのちを守る10か条

日本では、過去に度々大地震に見舞われ、多くの命が奪われてきた。そして今現在も巨大地震の脅威に直面している。地震からどう命を守るか、その決め手になるのは、地震発生時の一人一人の心構えと行動だ。

地震が発生したその時の心構えと行動10か条を見ていこう。

- ①家で地震!まず、自分の身の安全
- ②すばやく火の始末、初期消火
- ③戸を開けて出口を確保
- ④あわてた行動、けがのもと
- ⑤街では危険な場所から離れる
- ⑥山崩れ、崖崩れ、津波に注意
- ⑦火災発生、確かな避難
- ⑧確かめ合おう、家族の安否
- ⑨協力しあって救出・救護
- ⑩災害時の情報に注意



ライブラリー価格 本体 ¥65,000+税

監修：公益財団法人 市民防災研究所

映像提供：国土地理院／福住町町内会

協力：中野区宮桃町会／福住町町内会

企画・制作統括：高木 裕己

画像提供：福住町町内会

脚本・演出：川崎 けい子

制作・著作／株式会社 映学社

■DVD [カラー] ※字幕版も収録されています

■2020年・映学社作品

 株式会社 映学社
EIGAKUSYA CO.,LTD.

〒160-0022 東京都新宿区新宿5丁目7番8号らんざん5ビル
TEL:03-3359-9729(代表) FAX:03-3359-4024
<http://www.eigakusya.co.jp/>

●お問い合わせ、お買い上げは……